

議員案第7号

優先整備路線2路線問題に係る市政の混乱を踏まえ、白井亨市長に対し、その責任を厳しく問うと同時に、自ら出处進退を明らかにすることを求める決議

上記の決議を次のとおり提出する。

令和7年3月6日提出

小金井市議会議員

河野麻美

吹春やすたか

岸田正義

沖浦あつし

安田けいこ

坂井えつ子

遠藤百合子

鈴木成夫

村山ひでき

古畑俊男

たゆ久貴

水上洋志

渡辺大三

高木章成

片山かおる

森戸よう子

優先整備路線2路線問題に係る市政の混乱を踏まえ、白井亨市長に対し、その責任を厳しく問うと同時に、自ら出处進退を明らかにすることを求める決議

本年2月17日、市長は、市議会本会議において市長報告(「優先整備路線の検証及び総合的判断について」)を行った。また、市長は、当該市長報告の内容に関する市民説明会を3月8日及び11日に開催するとして、市報こがねい、市役所ホームページで市民に幅広く案内した。

当該総合的判断の3・4・11号線に関する記述は、市長選挙での公約に違背する内容であり、市長は支援者等に謝罪した。

しかし事態は一変し、3月4日、市長は、市議会本会議において、先の市長報告と総合的判断を撤回することを表明するに至った。本市において市長報告の撤回は過去に事例が確認できない事態である。既に案内済みの市民説明会も急遽中止することになった。また、この3月末までに東京都に提出するとしていた要望書についても無期延期となった。

言うまでもなく、市議会本会議での市長報告は、市政の重要課題についての市長の政策判断を内外に示すものであって、極めて重みがあるものであり、すべての調整を遺漏なく済ませ、万全を期した状態で行うべきものである。軽々しく行うべきものでも、軽々しく撤回するべきものでもないのは当然のことである。

撤回の原因は、総合的判断を行うに当たって考慮したとする自然環境の専門家の意見の引用を本人に無断で行ったことにあり、本人からも厳重な抗議の指摘がなされており、行政の長としてあるまじき行為である。

総合的判断を含む市長報告の前代未聞の撤回、告知したばかりの市民説明会の中止、市民と議会への約束だった東京都への要望書提出の不履行など一連の市政の混乱により、優先整備2路線への賛否にかかわらず、数多くの市民、数多くの議員が市長の言動への不信を強める結果を招いている。

「信なくば立たず」。市政は市民からの信頼なくして成り立つものではない。

よって、小金井市議会は、白井亨市長は市長としての資質に著しく欠け、その職にふさわしくなく、辞職に値すべきものと判断し、白井亨市長に対し、その責任を厳しく問うと同時に、自ら出处進退を明らかにすることを求めるものである。

以上、決議する。

令和7年 月 日

小金井市議会